



国際シンポジウム

野鳥と風力発電のセンシティブティマップ ～その作成と活用方法～

2018年2月17日(土)

10:00～17:00(開場9:30)

申込不要 参加無料

**東京都市大学
横浜キャンパス
3号館・31A教室**

画:柳原パト

プログラム集

主催:(公財)日本野鳥の会

共催:東京都市大学環境学部

バードライフインターナショナル東京

助成:地球環境基金

タイムテーブル

- 10:00-10:10 開会のあいさつ（東京都市大学環境学部／教授 吉崎真司）
- 10:10-10:30 環境省における全国向け野鳥と風力発電のセンシティブティマップ
有山 義昭／環境省自然環境局 野生生物課
- 10:30-10:50 衝突履歴を利用した全国スケールのセンシティブティマップ作成の試み
北村 亘／東京都市大学環境学部
- 10:50-11:10 鳴門市でのゾーニングにおけるセンシティブティの評価検討について
市川 大悟／世界自然保護基金ジャパン 気候変動・エネルギーグループ
- 11:10-11:30 北海道北部における繁殖海鳥の洋上風力発電センシティブティマップ作成事例
風間 健太郎／北海道大学水産科学院
- 11:30-11:50 北海道宗谷地域における野鳥と風力発電のセンシティブティマップ作成事例
浦 達也／（公財）日本野鳥の会 自然保護室
- 11:50-12:10 国内外のゾーニングの取り組みと今後の課題
分山 達也／（公財）自然エネルギー財団
- 12:10-13:00 昼休み
- 13:00-13:50 Reconciling birds and wind energy: The importance of sensitivity mapping
（野鳥と風力発電の調和 - センシティブティマップの重要性）
Tristram Allinson／BirdLife International
- 13:50-14:40 Bird Sensitivity Mapping Tool for Wind Energy Developments in Ireland
（アイルランドにおける風力発電のための鳥類センシティブティマップ作成ツール）
Oonagh Duggan／BirdWatch Ireland
- 14:40-15:20 Bird sensitivity maps and wind farm development in Bulgaria
（ブルガリアにおける鳥類のセンシティブティマップと風力発電開発）
Irina Mateeva／Bulgarian Society for the Protection of Birds
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-16:30 討論—どうしたら日本でセンシティブティマップが普及、活用されるのか—
・パネリスト：T. Allinson、O. Duggan、I. Kostadinova、有山義昭、市川大悟
風間健太郎、浦達也、分山達也
・モデレーター：北村 亘（東京都市大学・講師）
- 16:30-16:50 開場からの質疑応答
- 16:50-17:00 閉会のあいさつ（日本野鳥の会自然保護室／室長 葉山政治）

※司会：岡本裕子／（公財）日本野鳥の会 自然保護室